



↑山本町長（写真右）と基調講演に臨んだ川添町長

## 北と南の交流事業を紹介

B & Gサミットが縁

1月28日、全国367の自治体が参加した、第7回B & G全国サミットが東京都でありました。

昨年8月に実施した北海道東神楽町の子どもたちとの交流の様子について、川添健町長が事例発表を行いました。

花のまちづくりで共通点のある同町の山本進町長と、その経緯や交流の様子、本町独自のイベントや事業などを紹介し、出席者の関心を集めました。

## 無病息災を祈る

町内各地で鬼火たき

1月7日、町内の各集落で鬼火たきが行われました。

午後4時過ぎ、本町集落内の田んぼで、竹やスギの木でくまれたやぐらに火が入れられ、「パンッ！パンッ！」と鳴る竹の音とともに、火は高く燃え上がりました。

住民らが「今年1年も良い年でありますように」と無病息災を祈り、正月の間飾られたしめ縄などを火の中に放りました。



↑燃え上がる火に見入る住民



↑素早い手さばきでかるたに手を伸ばす児童

## 勝負は一瞬!!

郷土かるたで交流深める

1月10日、町開発総合センターで、長島郷土かるたとり大会がありました。

大会は、郷土の文化財、産業、自然を知ることにより郷土を正しく理解することなどを目的としています。

競技は個人戦、団体戦に町内の小中学生81人が参加。読み札が読み上げられると、子どもたちは素早い手さばきで取り札に手を伸ばしました。

## 地域防災に一役

防犯灯25基設置

平成26年度宝くじ助成金により、各集落から要望のあった、山寺や伊唐、指江、犬鹿倉などの集落に合計25基の防犯灯が設置されました。

この取り組みは、住民らが自主的に行うコミュニティー活動の促進と、夜間の交通事故防止や犯罪を未然に防ぎ、地域の安心・安全を確保するためのものです。



↑山門野地区の県道沿いに設置された防犯灯